

小学校国語科における知識・技能の活用を図る 学習活動に関する指導展開例の作成

《補助資料目次》

授業実践における指導構想並びに指導展開案

- 【補助資料1】「好きなところを紹介しよう(本と友だちになろう)」の指導構想・・・・・・・・・・ 1
- 【補助資料2】「好きなところを紹介しよう(本と友だちになろう)」の指導展開案(①～⑪)・・ 2
- 【補助資料3】「大事なことをたしかめよう」の指導構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 【補助資料4】「大事なことをたしかめよう」の指導展開案(①～⑬)・・・・・・・・・・ 14

平成22年2月18日
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 葛巻町立江刈小学校
片方元昭

【補助資料1】指導構想

小学校国語科 第2学年「読むこと」
単元名 「好きなどころを紹介しよう」
教材名 「スイミー」 (光村図書2年 上巻P40～53)

<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。(読む ウ) ・楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。(読む カ) ・自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(書く イ)

<p>【位置付けた言語活動】</p> <p>読んだ本について、好きなどころを紹介すること</p>
--

単元の指導構想 (全14時間)

段階	主な学習内容	○活用に関すること ※指導事項に関すること
<p><第1次> (2時間)</p> <p>読むこと</p>	<p>1～2時 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な読書活動への意欲や学習の目的意識をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・同一作者の作品を知る。 ・単元の学習課題「<u>好きなどころをしようかいしよう</u>」を立て、<u>学習の見通しをもつ</u>。 ○教材との出会い <ul style="list-style-type: none"> ・初発の読みで、<u>好きなどころを書いて交流する</u>。 <p style="text-align: center;">↓ 言語活動</p>	<p>○教材文について、好きなどころを紹介し合う活動を行うために、教材文を読んでいくことを児童に理解させ、読むことの目的化を図る。</p>
<p><第2次> (6時間)</p> <p>読むこと</p>	<p>3～6時 教材文を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>基本的な構成要素の確認</u>をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・時間や場所 ・主人公 ・情景や場面の様子の変化 ・事件の展開や解決 など ○<u>好きなどころや心に残ったところを書いて交流する</u>。 <p style="text-align: center;">↓ 言語活動</p> <p>7～8時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>好きな場面を選び、どんなところが好きか、どうして好きかを話して、好きな場面を音読する</u>。 <p style="text-align: center;">↓ 言語活動</p>	<p>○紹介カードを書くという学習につなげるために、毎時間のまとめとして、好きなどころや心に残ったところをノートに書いて交流する言語活動を行う。</p> <p>※教材文の読みでは、好きなどころやおもしろいところを書いて交流するために、場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げ、場面のイメージをもたせるようにする。</p>
<p><第3次> (6時間)</p> <p>読むこと 書くこと</p>	<p>9～14時 <u>おもしろそうだなと思う本をさがして読み、紹介カードを書いて交流する</u>。</p> <p style="text-align: center;">↓ 言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紹介カードの書き方を理解して、スイミーの紹介カードを書く。 ○レオ＝レオニの作品を読んで紹介カードを書く。 ○おもしろそうだなと思う本を探して読み、読んだお話の紹介カードを書くことができる。 ○紹介カードを見合い、夏休みの読書計画を立てたり、友達が紹介している本を読もうとしたりしている。 	<p>○これまでの教材文の学習をいかして、本を読んで好きなどころやおもしろいところを自分なりに見つけて紹介カードに書く言語活動を行う。</p> <p>※紹介カードの書き方を段階的に指導することで、どの児童も本を読んで紹介カードを書くことができるようにする。</p>

【補助資料2-①】指導展開案（1・2/14時間）

目標 単元の学習課題をつかみ、教材文について挿絵を見たり、範読を聞いたりして好きなところを書いている。

	学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (10)	<p>1 単元の学習課題をつかむ。</p> <p>○おもしろい本だよと紹介されると読みたくなかったということがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちにおもしろいとおしえてもらって、本を読んだことがあります。 ・本のしょうかいが書いてあるのを見て、読みたくなったことがあります。 <p>○教科書にあるようなおもしろいところや好きなところを紹介カードに書いて、本を紹介し合ひましょう。</p> <p>すきなところをしょうかいしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介されると読みたくなった経験を想起させてみる。 ・教科書p52の紹介カードを見せてイメージをもたせる。
展開 (75)	<p>2 単元の見とおしをもつ。</p> <p><学しゅうの見とおし></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇すきなところやここにのこったところを見つけながらスイミーを読む。 ◇スイミーを学しゅうしたあとにスイミーのしょうかいカードを書く。 ◇スイミーのさくしやの本を読んでしょうかいカードを書く。 ◇おもしろそうな本を読んでしょうかいカードを書く。 ◇書いたしょうかいカードを見て、なつ休みのどくしょのけいかくを立てる。 <p>3 「スイミー」のお話について、初発の読みで好きなところを書く。</p> <p>(1) 作者について知る。</p> <p>(2) 題名や挿絵について話し合う。</p> <p>○この絵は何をしている絵でしょうか。</p> <p>(3) 範読を聞く。</p> <p>(4) <u>好きなところをノートに書く。</u></p> <p>○「スイミー」を読んでどこが一番心に残りましたか。心に残ったところをノートに書きましょう。</p> <p>(5) 書いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、おそろしいまぐろがつっこんできたところがここにのこりました。 ・わたしは、みんなでおよいで大きな魚をおい出したのがいいなと思いました。おい出すことができてよかったです。思ったからです。 <p>4 音読の練習をする。</p> <p>5 新出漢字の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の大体の見とおしをつかませる。 ・レオ＝レオニの本を数冊紹介し、他にもないか、休み時間などに図書室で探させるようにする。 ・スイミーはどれか確認する。 ・挿絵のコピーを用意する。 ・挿絵がそれぞれどんな様子の絵だったかを話し合うことで、内容の大体を確認する。 ・心に残ったところが書けた子にはどうしてそこが心に残ったか、理由を書かせるようにする。 *好きなところを視写したり、絵をかいたりしている。 ○どの挿絵のところか心に残ったかを聞き取り、児童が話したことをまとめ、ノートに書かせるようにする。 ・理由を書いている子には理由をつけて話をさせるようにする。 ・読みと書き順を確認する。 <p><こんなことを意識して> 単元の導入では、日常生活と結びつける発問の工夫、学習することや読むことの目的を明確にして、<u>学習への意欲を高め</u>ます。</p> <p><こんなことを意識して> 位置付けた言語活動を意識して、好きなところをやおもしろいところを見つけ<u>て書く学習活動</u>を行っていきます。</p>
終末 (5)	<p>6 自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習できたか、これから学習することがわかったを確認する。

【補助資料2-②】指導展開案（3/14時間）

目標 2つの場面を読み、心に残ったところを書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> どんなじけんがおきたのだろう。 </div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(P40～P42) 全員読み→指名読み 3 1の場面と2の場面を確認をする。 (1) 1の場面を読む。 ○どこのお話ですか。 ○だれが出てきましたか。 ○スイミーはどんな魚ですか。 ・まっくろです。 ・およぐのはだれよりもはやいです。 ○スイミーは兄弟たちとどんなことをして暮らしていたと思いますか。 ・なかよくあそんでいたと思います。 ・およぎょうそうをしていたと思います。 (2) 2の場面を読む。 ○1の場面と比べてどんな感じがしますか。どうしてそう思いましたか。 ・こわい感じがします。まぐろが大きいからです。 ・かわいそうなかんじがします。きょうだいたちがみんなのみこまれてスイミーがいっぱきだけになったからです。 ・くらい感じがします。1つめの絵はあかるいけど、2つめの絵はくらいからです。 4 2つの場面から心に残ったところを書く。 ○2つの場面を読んでどこが一番心に残りましたか。一番心に残ったところをノートに書きましょう。 ・わたしは、楽しくくらししていたところがこころにのこりました。とても楽しそうだったからです。 ・ぼくは、おそろしいまぐろがつっこんできたところがこころにのこりました。とてもこわいなあと思ったからです。 5 1と2の場面の音読をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <こんなことを意識して> 好きなところを書くという言語活動を意識した学習。 </div>	・学習場面の確認とどんな事件が起きたかを確認するように音読を行う。 ・スイミーのお話の時間や場所、主人公等の登場人物について確認する。 ・「広い海のどこか」をおさえる。 ・「小さな魚のきょうだいたち」と「スイミー」であることを確認する。 ・1の場面だけなので「まぐろ」はまだ出てきていないことを確認する。 ・くろとまっくろの違いを確認する。 ・みんなと色が違うことをおさえる。 ・楽しく暮らしていた様子を想像させるようにする。 ・どうしてそのように感じたのか理由も確認する。 ・挿絵の拡大コピーを用意して、挿絵からも様子の違いに気付かせるようにする。 ・感じた理由と教科書に書いてあることを結びつけるようにする。 * 2つの場面を読み、心に残ったところを書くことができる。 ○2つの場面を一緒に読み、どこが一番心に残ったか聞いてみる。 ・どうして心に残ったかの理由も書かせるようにする。 ・感想の語彙を広げるように、どきどきした、おそろしい、こわい、かなしい、さびしいなどの言葉をつかっている子がいたら広めるようにする。 ・場面の様子がわかるように工夫して読むように声をかける。 ・それぞれ練習した後、指名読みをする。 ・様子を想像しながら音読したり、聞いたりできたか確認する。
終末 (5)	6 自己評価をする。 7 次時の学習内容を確認する。	・楽しく学習できたか、心に残ったところを見つけることができたかを確認する。

【補助資料 2-③】指導展開案（4/14時間）

目標 海の中でスイミーが見たものを視写したり，絵にかき表したりすることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> スイミーは海の中でどんなものを見つけたのだろうか。 </div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p44～p45) 全員読み→指名読み 3 3の場面でスイミーが見たものを確認する。 4 スイミーが見たものについて書き抜いたり，絵をかいたりして，場面を想像する。 ○スイミーが見たものの中から，自分がおもしろいなあと思ったものをノートに書き写し，その絵を想像して画用紙にかいてみましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>〈こんなことを意識して〉 好きなところを書くという言語活動を意識した学習。</p> </div> ○かいた絵について，スイミーになったつもりでしようかいしてみよう。 ・これはくらげです。くらげは，にじ色のゼリーのようです。とてもきれいだなあと思いました。 ・これは，水中ブルドーザーみたいなせえびです。つよそうだなあと思いました。 5 3の場面の音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習場面の確認と，スイミーが海の中でどんなものを見たかを確認するために音読する。 ・スイミーがどんなものを見たか確認する。 ・書かれている文が，いつもの書き方と違うことに気付かせる。(倒置法，比喩，体言止め) ・画用紙を用意する。 *スイミーが見たものからおもしろいと感じたものを視写したり絵にかいたりすることができる。 ○個別に聞きながら，イメージをふくらませるようにする。 ・はやくできた児童には他の見たものについて取り組ませる。 ・それを見たとき，スイミーはどう思ったか想像させてみる。 ・見た時にスイミーはどのように感じたと思うか想像させてみる。 ・話し方の例を示す。 ・場面の様子がわかるように工夫して読むように声をかける。 ・それぞれ練習した後，指名読みをする。 ・様子を想像しながら音読したり，聞いたりできたか確認する。
終末 (5)	6 自己評価をする。 7 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習できたか，好きなところや気に入ったところを見つけることができたかを確認する。

【補助資料2-④】指導展開案（5/14時間）

目標 スイミーが考えた場面を読み、心に残ったところを書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> スイミーはどんなことを考えたのだろうか。 </div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p46～p47) 全員読み→指名読み 3 スイミーと赤い魚たちの会話を想像する。 ○「だめだよ。大きな魚たちに食べられてしまうよ。」のほかに、小さな赤い魚たちはどんなことをスイミーに話したでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「だめだよ。おそろしいまぐろがやってくるかもしれないよ。」 ・「だめだよ。まぐろに一口でのみこまれてしまうよ。」 4 スイミーはどんなことを考えたか話し合う。 ○「スイミーは考えた。いろいろ考えた。うんと考えた」とありますが、どんなことを考えたと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・じっとしなくてもいいほうほうを考えたと思います。 ・いろいろとあるから、大きな魚をおいだすほうほうをいろいろ考えたと思います。 ・うんと考えたとあるから、考えたほうほうでうまくいくかよく考えていたと思います。 5 心にのこったところをノートに書く。 ○今日の場面でどこが心に残りましたか。心に残ったところをノートに書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、スイミーがうんと考えたところがここにのこりました。わけは、あきらめないでいっしょうけんめい考えていたのがいいと思ったからです。 ・ぼくは、出てこいよ。みんなであそぼうといったところがここにのこりました。わけは、きょうだいたちとそっくりな小さな魚を見つけて、スイミーがうれしそうだったからです。 6 4の場面を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習場面の確認と、スイミーがどんなことを考えたかを考えるために音読をする。 ・最初の文から場面の様子を想像させる。 ・「だめだよ。」の続きを考えさせる。 ・「おそろしい」や「一口で」という言葉を使わせノートに書かせる。 ・想像した小さな赤い魚たちの会話で、スイミーとの会話のやりとりを試みる。 ・「いろいろ」や「うんと」の言葉を手掛かりにして考えさせてみる。 ・スイミーがあきらめないで考えていた様子をつかませる。 ・考えた理由を聞く。 ・一緒になって泳ぐのほかに、どんな方法を考えたと思うか想像させてみる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><こんなことを意識して> 好きなところを書くという言語活動を意識した学習。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> * スイミーが考えた場面を読み、心に残ったところを書くことができる。 ○ 学習場面を一緒に読み、どこが一番心に残ったかを聞いてみる。 ・ 心に残ったところを書いた児童には、どう思ったからそこが心に残ったのか理由も書かせるようにする。 ・ 感想の言葉にも注目し、表現を工夫していたら取り上げて広めるようにする。 ・ 場面の様子がわかるように読み方を考えて練習させるようにする。 ・ 練習した後、指名読みをする。 ・ 様子を想像しながら音読したり、聞いたりできたか確認する。
終末 (5)	7 自己評価をする。 8 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく学習できたか、心に残ったことを見つけられたかを確認する。

【補助資料2-⑤】指導展開案（6/14時間）

目標 最後の場面を読み、好きなところを見つけて書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 大きな魚をおい出したとき、スイミーたちはどんなことを言ったのだろう。 </div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p48～p49) 全員読み→指名読み 3 スイミーが考えた方法と約束を確認する。 ○スイミーはどんな作戦を考えたのですか。 ・みんなでいっしょにおよいで、海でいちばん大きなさかなのふりをするさくせんです。 ・海でいちばん大きな魚のふりをして、みんなでおよぐさくせんです。 ○スイミーが教えたきまりはなんですか。 ・けっしてはなればなれにならないことです。 ・みんな、もちばをまもることです。 4 大きな魚を追い出した時、スイミーや小さな赤い魚たちだどんなことを言ったか書いて発表する。 ○大きな魚を追い出した時に、スイミーと小さな赤い魚たちがどんなことを言ったと思いますか。ノートに書きましょう。 ・ス「やった～これで、みんなとあそべる。」 ・ス「みんな、うまくいったね。」 ・小「スイミーのおかげでさくせんせいこうしたよ。ありがとう」 ・小「これで、スイミーといっしょにおもしろいものをさがしにいける。」 5 最後の場面で、好きなところを書いて発表する。 ・ぼくは、スイミーがみんなに教えていたところがすきです。リーダーみたいですごいと思ったからです。 ・わたしは、みんなで大きな魚をおい出したところがすきです。みんなとてもよろこんだと思うからです。 6 5の場面を音読する。	・学習場面の確認と、大きな魚を追い出した時にどんなことを言ったかを考えるために音読する。 ・海で一番大きな魚のふりをする事でどんなよさがあるか考えさせてみる。 ・2つの教えたことを確認する。 ・きまりをまもらないとどうなるか想像させてみる。 ・すぐにうまくできたのかなど、練習の様子も想像させる。 ・大きな魚を追い出した時のスイミーや小さな赤い魚たちの会話を「 」を使って書く。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈こんなことを意識して〉</p> <p>好きなところを書くという言語活動を意識した学習。</p> </div> *最後の場面で、好きなところを書くことができる。 ○スイミーがしたことを一緒に確認し、その中からどれがいいと思ったか話を聞く。 ・どう思ったから好きなのか理由も書かせるようにする。 ・場面の様子がわかるように読み方を考えて練習させるようにする。 ・練習した後、指名読みをする。 ・様子を想像しながら音読したり、聞いたりできたか確認する。
終末 (5)	7 自己評価をする。 8 次時の学習内容を確認する。	・楽しく学習できたか、好きなところを見つけられたかを確認する。

【補助資料2-⑥】指導展開案（7/14時間）

目標 スイミーのお話で一番好きなどころを選んで音読の練習をすることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">いちばんすきなどころをえらんで、しょうかいするれんしゅうをしよう。</div>	
展開 (35)	2 全文を音読する。(p40～p49) ○指名読み 3 一番好きなどころを選んで、紹介の準備や練習をする。 (1) 紹介のしかたを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◇いちばんすきなどころを絵にかいて、見せながらどんなところかせつめいする。 ◇すきなわけをいう。 ◇いちばんすきなどころをこえに出して読む。</div> (2) 紹介の準備や練習をする。 ○はじめに一番好きなどころを決めて絵をかきましょう。次にわけを書きましょう。そして、どこをどんなふうを読むか考えて読む練習をしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、みんなで楽しくくらししていたところにしよう。なかがよくてあかるいかんじがするから。読むときもあかるくよもう。 ・わたしは、おそろしいまぐろがきたところにしよう。とてもかわいそうでここにのこったから。ちょっとこわいかんじで読もうかな。 ・わたしは、スイミーがだんだん元気をとりもどしたところにしよう。おもしろいものがたくさんあったし、あかるいかんじがしたから。楽しそうに読もう。 ・さいごに大きな魚をおいだしたところにしよう。みんなで力をあわせてがんばったから。元気よく読もうかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい一番好きなどころを見つけるために音読する。 ・例を示し、イメージをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わたしは、スイミーがうんと考えたところがすきです。わけは、スイミーがあきらめないでがんばって考えていたからです。 いちばんすきなどころを読みます。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>＜こんなことを意識して＞</p> <p>これまでのスイミーの学習をいかして、好きなどころについて音読も入れて紹介できるように練習します。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・音読を練習するときは、教科書p51を参考にしたり、今までの学習を振り返ったりして、どこをどんなふうを読むか考えさせてみる。 ・どうして、そのように読んだか聞いて回る。 * スイミーのお話で一番好きなどころを選んで音読の練習をすることができる。 ○ これまでの学習を振り返ったり、教科書を読み返したりしながら、どこが一番好きか個別に聞いてみる。
終末 (5)	4 自己評価をする。 5 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習できたか、好きなどころを見つけて練習ができたかを確認する。 ・おうちの人にも聞いてもらうように話をする。

【補助資料2-⑦】指導展開案（8/14時間）

目標 スイミーのお話で一番好きなところを紹介することができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ーばんすきなところをしょうかいしよう。 </div>	
展開 (35)	2 一番好きなところを紹介する。 (1) 紹介の仕方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> ◇いちばんすきなところを、絵を見せながら どんなどころかせつめいする。 ◇すきなわけをいう。 ◇いちばんすきなところをこえに出して読む。 </div> (2) 紹介のしかたを練習する。 ○一番好きなところがみんなによく伝わるように練習しましょう。 (3) 発表する。 ○発表するときは、一番好きなところがみんなによく伝わるように発表しましょう。 聞くときは、お友だちのよさを見つけながら聞きましょう。 ・ぼくは、みんなで楽しくくらししていたところがすきです。わけは、あかるい感じがするからです。いちばんすきなところを読みます。 ・わたしは、スイミーがだんだん元気を取りもどしたところがすきです。おもしろいものがたくさんあったし、スイミーが元気になってほっとしたからです。いちばんすきなところを読みます。	・前時の練習をいかすように声をかける。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><こんなことを意識して> 前の時間に練習したことをいかして、好きなところを紹介させます。 友だちのよさを見つけながら聞き合うことで、友だちの感じ方や考え方を認め合い、読みの世界を広げるようにします。</p> </div> *スイミーのお話で一番好きなところを紹介することができる。 ○練習したことを発表できるように、そばにいて安心させるようにする。 ・絵のよさや、音読のよさを見つけて声をかける。 ・よいところを見つけながら聞いている子をほめる。
終末 (5)	3 自己評価をする。 4 次時の学習内容を確認する。	・楽しく学習できたか、好きなところを紹介することができたかを確認する。

【補助資料 2-⑧】指導展開案（9/14時間）

目標 紹介カードの書き方を理解して、紹介カードを書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">しょうかいカードをかこう。</div>	
展開 (35)	2 紹介カードに書く内容を確認する。 ○紹介カードにはどんなことを書きますか。 ・お話のだいめいです。 ・さくしゃの名前です。 ・出てくる人やどうぶつです。 ・いちばんすきなところや、おもしろいと思うところですか。 ○この紹介カードを見てください。もっと読みたくなるような紹介カードにするにはどうしたらいいと思いますか。 ・本のだいめいのスイミーを書いたほうがいいと思います。 ・スイミーは魚ですでは、せつめいがたりないとおもいます。どんな魚かを書いたほうがいいと思います。 ・いちばんすきなところやおもしろいと思うところが書いてないので書いたほうがいいと思います。 3 スイミーの紹介カードを書いてみる。 ○必要なことを書いたり、直したりしてスイミーの紹介カードを書いてみましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈こんなことを意識して〉</p> <p>構成を意識して紹介カードを書くことができるように、必要な事柄が抜けていたり、説明が不足していたりする紹介カードを用意します。</p> <p>そして、紹介したいことを文章に書くことができるようにします。</p> </div>	・教科書p52を読んで、簡条書きに書かれてある紹介カードに書くことを確認する。 ・簡条書きに書かれてあることが紹介カードのどこにどのように書かれてあるか確認する。 ・必要なことがいくつか抜けているスイミーの紹介カードを示し、どんなことを書いたら読みたいと思うか話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> </div> ・紹介カードを用意する。 ・スイミーについては、それぞれのスイミー像を大事にする。 *紹介カードの書き方を理解して、紹介カードを書くことができる。 ○好きなところについては前時までの学習をいかして、簡単に書かせるようにする。 ・出来上がったカードはスイミー号のお話列車としてつないで掲示し、ほかに、レオ＝レオニ号や動物のお話号、昔話号などを作ろうという気持ちにする。
終末 (5)	4 自己評価をする。 5 次時の学習内容を確認する。	・楽しく学習できたか、スイミーの紹介カードを書くことができたかを確認する。

【補助資料 2 - ⑨】指導展開案 (10・11/14時間)

目標 レオ=レオニの作品を読んで、紹介カードに書くことができる。

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">レオ=レオニ号のお話れっしゃをつくろう。</div>	
展開 (80)	2 紹介カードに書く内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p><紹介カードに書くこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話のだいめい ・さくしゃの名前 ・出てくる人やどうぶつ ・いちばんすきなところやおもしろいと思うところ </div> <p>3 レオ=レオニの本を読んで、紹介カードを書く。</p> <p>(1) レオ=レオニの本の読み聞かせを聞き、好きなどころについて交流する。</p> <p>○このお話はなんという題でしたか。 ○作者はだれでしたか。 ○このお話にはどんな動物が出てきましたか。 ○一番おもしろかったところはどこですか。</p> <p>(2) 紹介カードを書く。 ○読み聞かせの本の紹介カードを書いてみましょう。書いた人は、自分でおもしろそうだなと思うレオ=レオニの本を読んで、紹介カードを書いてみましょう。</p> <p>4 紹介カードを交流する。</p>	<p>・紹介カードに書くことを確認する。</p> <p>・レオ=レオニの作品から一冊読み聞かせをする。</p> <p>・読み聞かせをした後に、紹介カードに書く項目について確認をする。</p> <p>・確認することでお話の大体をつかませる。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><こんなことを意識して></p> <p>前時は、みんなで読み取ってきたスイミーのお話の紹介カードを書いています。本時は、前時の学習をいかして、同一作者の読み聞かせや自分で読んだ本について好きなどころやおもしろかったところを紹介カードに書きます。</p> </div> <p>*レオ=レオニの作品を読んで、紹介カードを書くことができる。</p> <p>○読むことを苦手としている児童がいたら、一緒に読み、紹介カードに書く必要なことを確認する。</p> <p>・お互いに見合った後にレオ=レオニ号としてつないで掲示し、動物のおはなし号や昔話号も作ろうという気持ちにさせるようにする。</p>
終末 (5)	5 自己評価をする。 6 次時の学習内容を確認する。	<p>・楽しく学習できたか、レオ=レオニの本の紹介カードを書くことができたかを確認する。</p>

【補助資料2-⑩】指導展開案（12・13/14時間）

目標 おもしろそうだなと思う本を読んで、紹介カードに書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「おもしろそうだな。」と思う本をさがして読み、しょうかいカードを書こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 動物のお話号や昔話号をつなげるという目標ももたせ、意欲的に取り組むようにする。
展開 (80)	<p>2 学習の流れを確認する。 ○これまでの学習をいかして、今日は、おもしろそうだなと思う本を読んで、紹介カードを書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇図書室にある本でおもしろそうだなと思う本を読む。 ◇読むときは、さし絵を見てどんなお話か予想し、それから読んでみる。そして、おもしろかったところや好きなところを紹介カードに書く。</p> </div> <p>3 学習の流れや約束事を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇図書しつではさわがないでマナーをまもる。 ◇一どおもしろそうだなと思ってえらんだ本はさいごまで読む。</p> </div> <p>4 おもしろそうだなと思った本を読み、紹介カードを書く。 ○自分がおもしろいと思った本の紹介カードを書いてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><こんなことを意識して> 学習したことをいかして、自分が読んだ本について好きなおもしろかったところを紹介カードに書いて紹介する言語活動を行います。</p> </div> <p>5 書いたカードを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読んだ本はきちんと元に戻すことを確認する。 教科書で紹介カードに書かれているエルマーはシリーズ本であることを伝え、読書に広がりをもたせるようにする。 代本板などを入れてから読むことを確認する。 読んでいる本について、本の題名、作者、出てくる人や動物、一番好きなおもしろいところなど、紹介カードに書くことについて聞いて歩く。 読むことに苦勞している児童がいたら、一緒に読んだり、途中まで読んであげたりする。 紹介カードを書くことが競争にならないように、友だちが読みたくなるような紹介カードを書くように声をかける。 丁寧に取り組んでいる児童をほめていく。 *おもしろそうだなと思う本を探して読み、紹介カードに書くことができる。 ○おもしろそうな本を選べないでいる児童には、本を紹介したり、これまで読んでおもしろかった本を聞いたりして本を読ませ、紹介カードに書かせてみる。 紹介カードは動物のお話号や昔話号としてつないで掲示する。
終末 (5)	<p>6 自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく学習できたか、おもしろい本を紹介カードに書くことができたかを確認する。

【補助資料 2 - ⑪】指導展開案 (14/14時間)

目標 紹介カードを見合い、夏休みの読書計画を立てたり、紹介している本を読もうとしたりしている。

	学習活動 (○主な発問 ・ 予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>しょうかいカードを見て、なつ休みに読みたい本をきめたり、しょうかいしている本を読んだりしよう。</p> </div>	
展開 (30)	<p>2 夏休みに読みたいブックリストを作る。 ○紹介カードを見ながら、夏休みに読みたい本を選んでみよう。</p> <p>3 紹介カードを見て読みたいと思った本を読む。 ○紹介カードを見て、読みたいと思った本を読みましょう。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><こんなことを意識して> 学習したことが実生活にもいきるように、読書郵便への取り組みを図ります。</p> </div>	<p>・夏休みに読みたい本が書き込めるブックリストを用意する。</p> <p>*紹介カードを見て、夏休みに読みたい本を決めたり、紹介している本を読んだりしている。 ○紹介している本がどんな本かカードを見ただけでは分からない時は、紹介カードを書いた人にどんな本か質問させてみる。 ・読んだ後に、紹介カードを書いた人に自分はどこがおもしろいと感じたか伝えるに行くように声をかける。</p>
終末 (10)	<p>4 学習を振り返る。 ○どんな学習が楽しかったか。 ○どんなことができるようになったか</p>	<p>・夏休みには、読んだ本について、先生にはがきでおもしろかったことを紹介してほしいことを伝える。</p>

【補助資料3】指導構想

小学校国語科	第3学年「読むこと」「書くこと」
単元名	大事なことをたしかめよう
教材名	すがたをかえる大豆 食べ物はかせになろう (光村図書3年 下巻P22～32)

【指導のねらい】

- 大豆を食べる工夫について、段落相互の関係をとらえながら読み取ることができる。
- 身近な食べ物について調べるテーマを決め、本を読んで、書く上で必要な事柄を調べることができる。
- 書こうとすることの中心を明確にして、身近な食べ物について、事例を挙げて書くことができる。

【位置付けた言語活動】

収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。

【単元構想】(全17時間)

段階	主な学習活動	〇活用に関すること
<p>読むこと</p> <p><第1次> (2時間)</p>	<p>1時 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な食べ物について興味をもち、「食べ物はかせになろう」の学習活動に意欲をもつ。 ○身近な食べ物について調べて説明する「食べものはかせになろう」の本づくりをするために、「すがたをかえる大豆」を読むという読みの目的をもつ。 ○初めて知ったことや驚いたこと、説明する文の書き方について気が付いたことを書く。 <p>2時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読み、全体の構成と内容の大体をとらえる。 	<p>【読む目的の明確化】</p> <p>身近な食べ物について調べ、分かったことを説明する文章に書くために教材文を読むという学習の見通しや読みの目的を明らかにする。</p>
<p>読むこと</p> <p><第2次> (4時間)</p>	<p>3～6時 教材文を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はじめ」の段落について、<u>どんなことについて説明しようとしているのかを読み取る。</u>(3時) ○「中」の段落について、<u>どんな事例をどのように説明しているか読み取る。</u>(4～5時) ○「終わり」の段落について、<u>どんな目的で説明文を書いたのかを読み取る。</u>(6時) 	<p>【既習学習の活用】</p> <p>「ありの行列」で学習した、<u>中心文を見つけること、繰り返し出てくる言葉、題名とつながりのある言葉</u>に気を付けて、段落に何が書いてあるかを考えさせるようにする。</p> <p>【第三次への活用を意識】</p> <p>伝えたいことの中心は何か、どんな事例を挙げているのか、事例にはどんな関連があるかを考えながら読む。</p>
<p>読むこと</p> <p><第3次> (11時間)</p>	<p>7～17時 <u>食べ物について調べて説明する文章を書く。</u></p> <p style="text-align: center;">言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「食べ物はかせになろう」を読み、テーマを決める。(7～8時) ○調べたことを書き出す方法を理解し、本を読んで調べる。(9～10時) ○カードを整理して順番を考える。(11～12時) ○カードに書いたことを説明する文章にする。(13～14時) ○清書して本を作る。(15～16時) ○お互いに読み合う。(17時) 	<p>【教材文の学習を活用】</p> <p>伝えたいことの中心や関連性を考えながら事例を挙げて説明する文章を書く。</p>

【補助資料3-①】指導展開案（1/17時間）

目標 食べ物について関心を持ち、教材文を読んで初めて知ったことや驚いたこと、説明する文章の書き方で気が付いたことをノートに書いている。

	学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (20)	<p>1 「食べものはかせになろう」の本づくりに意欲をもつ。</p> <p>○学校の畑や家で育てた食べ物は何か。どんな食べ方がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシです。トウモロコシはゆでて食べたり、焼いて食べたりします。 ・サツマイモです。ふかしたり、にたりして食べます。サツマイモチップスにしたり、天ぷらにしたりして食べることもできます。 ・ミニトマトです。そのまま食べたり、サラダにのせて食べたりします。スープにしたり、スパゲッティにしたりします。 <p>○身近な食べ物について、色んな食べ方があるようです。ここに、食べ物についての本があります。調べて、みんなで「食べものはかせ」の本を作りましょう。</p> <p>○食べ物について説明している文が教科書にあります。「すがたをかえる大豆」を手本として、身近な食べ物について本で調べて、よさやすごさを文章にまとめて「食べものはかせ」の本を作りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物について関心をもたせるように、どんな食べ物を育てたのか、どんな食べ方があるかを十分に発表させる。 ・食べ物に関連する本を紹介して、食べ物に関する本に関心をもたせるようにする。 ・説明する文の書き方を参考にするために教材文を読むという読みの目的をもたせるようにする。
展開 (30)	<p>2 「すがたをかえる大豆」を読み、初めて知ったことや驚いたこと、説明する文の書き方で気が付いたことをノートに書く。</p> <p>(1) 初めて知ったことや驚いたこと、説明する文の書き方について考えながら範読を聞く。</p> <p>(2) 初発の感想を書く。</p> <p>○一段落目に、初めて知ったことや驚いたことを、二段落目に、説明する文の書き方で気が付いたことをノートに書きましょう。</p> <p>・ぼくは、大豆がこんなにいろいろなすがたにかわってるとは知らなかったです。ほかにもいろいろなすがたにかわっているものがあるのかなあと思いました。</p> <p>書き方では、「次に」とか「また」という順番を表わす言葉が入っているのに気が付きました。</p> <p>・わたしは、昔の人たちのちえがすごいなあと思いました。大豆のよさを知っていて、いろいろな食べ物にして食べてきたからです。</p> <p>書き方では、「このように」というまとめるときに使う言葉が入っているのに気が付きました。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の大豆を見せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>初発の感想は、学習意欲を高めるために、初めて知ったことなどを書かせます。また、説明する文を書く学習活動を意識させ、書き方で気が付いたことも書かせてみます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・題名からわかることを確認する。 ・筆者について簡単に紹介する。 * 初めて知ったことや驚いたこと、説明する文の書き方で気が付いたことをノートに書いている。 ○ どんなどころがすごいと思ったかを聞き取り、児童が話したことがどこに書かれているかを確認して、ノートに書かせるようにする。書き方については、ありの行列でどんな書き方があったかを想起させる。 ・自分たちが書いた食べものはかせの本を読んだ人が、分かりやすかったといってくれるように、「すがたをかえる大豆」を読むという読みの目的を再確認をする。
終末 (5)	<p>3 自己評価をする。</p> <p>4 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想を書くことができたかを振り返らせる。

【補助資料3-②】指導展開案（2/17時間）

目標 「すがたをかえる大豆」を読み、全体の構成をとらえることができる。

	学習活動(○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の学習課題をつかむ。 「はじめ」「中」「終わり」の三つに分けよう。	<p>これまでの説明文を想起させます。「ありの行列」や「サンゴの海の生きものたち」のはじめや終わりを提示して、共通点を見い出しながら想起させることも考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの段落で3つに分けることができるか考えながら読ませるようにする。 ・教科書p27で「はじめ」と「終わり」にはどんなことが書いてあるのかを確認する。 ・サンゴの海の生きものたちでも、ありの行列でも、まとめの文頭に「このように」とついていたことを想起させる。 *内容の大体を読み取り、「はじめ」「中」「終わり」の大きなまとまりに分けることができる。 ○「いちばん分かりやすいのは、」や「このように」などの文の始まりの言葉に着目させる。 ・分けることができたなら、理由を書かせるようにする。 ・どのように分けたか発表してから、どうしてそのように分けたかを話し合う。 ・教材文に書いてあることを根拠にしたり、既習教材での学習を想起させたりして話し合わせるようにする。
展開 (35)	<p>2 「はじめ」「中」「終わり」にどんなことが書かれて既習の説明文や教科書のp27で確認する。</p> <p>○「はじめ」のまとまりにはどんなことが書いてあるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから説明することです。 <p>○「中」にはどんなことが書いてあるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明です。 <p>○「終わり」には、どんなつなぎ言葉を使って、どんなことが書いてあるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このようにというつなぎ言葉を使って、まとめが書いてあります。 <p>3 音読する。(pP22～p25) 全員読み</p> <p>4 三つに分ける</p> <p>○「すがたをかえる大豆」を「はじめ」「中」「終わり」の3つに分けましょう。</p> <p>5 考えたことを発表する。</p> <p>○考えたことを発表し、話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめが①で、中は②③④⑤⑥⑦⑧で、終わりは⑨だと思います。①にはなんだからかわかりますかと問いかけの文があるからです。⑨は筆者の考えが書いてあるからです。 ・はじめが①で、中は②③④⑤⑥⑦で、終わりは⑧⑨だと思います。ありの行列でも、「このように」と書いてあるとまとめの文だったからです。 ・はじめが①②で、中は③④⑤⑥⑦⑧で、終わりは⑨だと思います。「いちばん分かりやすいのは、」と説明が始まっているのが③だからです。 ・はじめが①②で、中が③④⑤⑥⑦で終わりが⑧⑨だと思います。③から説明が始まり、⑧で「このように」とまとめているからです。 <p>6 3つのまとまりを意識して音読する。</p>	
終末 (5)	<p>7 自己評価をする。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	

【補助資料 3-③】指導展開案（3/17時間）

目標 「初め」の段落について、どんなことについて説明しようとしているのかを読み取ることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">何についてせつめいしようとしているのだろう。</div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p22～p23の6行目) 全員読み 3 初めの段落について読み取る。 ○①の段落には、どんな材料が出てきましたか。 ・肉です。 ・野菜です。 ・ごはんになる米です。 ・パンやめん類になる麦です。 ・大豆です。 ○どうして筆者はこれらの中から大豆について説明しようとしたのでしょうか。①の段落からわかるところはどこですか。 ・大豆がそれほど食べられていることは意外と知られていません。大豆はいろいろな食品にすがたをかえていることが多いので気づかれないのです。 ○②の段落では「大豆」と「ダイズ」が出てきます。どのように違うのでしょうか。 ・「大豆」は「ダイズ」という植物のたねと書いてあるので、「大豆」は種だけを表わして、「ダイズ」は葉や茎、根も含めた植物の名前を表していると思います。 ○「大豆」の問題点は何ですか。 ・かたいことです。 ・食べにくく、消化もよくないことです。 4 筆者は、これから、どんなことについて説明しようとしているのか、中心となる文を見つけてノートにまとめる。 ○筆者はこれからどんなことについて説明しようとしているのですか。ノートにまとめましょう。 ・大豆はかたくて、そのままでは食べにくく、消化もよくないので、いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしていることについてです。 ・いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうについてです。 ・どのようにして、おいしく食べるくふうをしているかについてです。 ○いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうと同じような意味の文が①段落にあります。どの文でしょう。 ・大豆は、いろいろな食品にすがたをかえているです。 5 ①と②の段落の音読をする。	・学習場面の確認とどんなことについて説明しようとしているのかを考えさせながら音読を行う。 ・材料と食品の違いについて確認する。 ・「大豆」と「ダイズ」の違いについて大豆の実物や教科書の「ダイズ」の写真で確認する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">「ありの行列」で段落に何が書いてあるかを考えるときに中心となる文を見つけるという学習を生かします。ここでは、この後、繰り返し出てくる「くふう」という言葉に着目させます。</div> *何について説明するのかが書いてある中心となる文を見つけて書くことができる。 ○説明が始まる直前の文に着目させる。 ・はじめの段落には、これから説明することの内容や食品の簡単な説明が書かれてあったことをおさえる。 ・「すがたをかえている」は手をくわえておいしく食べるくふうをしてかえていることに気付かせる。 ・どんなことについて説明しようとしているかを確認させるようにする。
終末 (5)	6 自己評価をする。 7 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料3-④】指導展開案（4/17時間）

目標 「中」の段落を読み取り、工夫と食品の事例についてノートにまとめることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">かたい大豆をおいしく食べるためにはど なくふうがあるのだろう。</div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p23の7行目～p24の5行目) 全員読み→指名読み 3 中の前半③④⑤段落の手をくわえて、おいしく食べる工夫について読み取る。 (1) ③の段落について ○どんな工夫について書いてありますか。 ・大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふうです。 ○いったときにできる食品は何ですか。 ・豆まきの豆です。 ○煮てできた食品は何ですか。 ・に豆です。 (2) ④と⑤の段落について ○③の段落と同じように、④と⑤の段落について、どんな工夫について書いてあるか、どんな食品になるかをノートに書きましよう。 (3) 発表し合う。 ・④段落は、こなにひいて食べる工夫についてです。食品はきなこです。 ・⑤段落は、ダイズにふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にする工夫についてです。食品はどうふです。 (4) 説明の順番について話し合う。 ○つなぎ言葉はどんな言葉が使われていましたか。 ・「いちばん分かりやすいのは」です。 ・「次に」です。 ・「また」です。 ○この3つの順番で気が付いたことはありますか。 ・わかりやすい順で書いてました。 ・だんだん小さくなりました。 ・だんだん作り方が難しくなりました。	・学習場面の確認と大豆をおいしく食べるためにどんな工夫が書かれてあるかを考えさせながら音読を行う。 ・③段落については、一斉学習を行い、段落に書かれている工夫と食品を読み取って、ノートに書く学習の流れを確認する。③段落の学習を生かし、④⑤段落については自力で取り組ませる。 ・いるとにるの料理の仕方の違いを確認する。 ・いり豆を実際に見せる。 ・黒豆はに豆の一つであることを確認する。 *「中」の段落を読み取り、おいしく食べる工夫と食品の事例についてノートにまとめることができる。 ○「くふう」という言葉に着目させて読み取らせるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">大豆をおいしく食べる工夫の読み取りだけでなく、文章の書き方に着目させます。どんな接続語が使われているのか、それぞれの工夫についてどんな順番で説明されているのか考えさせることで、自分の説明する文章を書く時に生かすことができるようにするためです。</div> ・どんな工夫の例が説明されていたかを振り返りながら音読させる。
終末 (5)	5 自己評価をする。 6 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料3-⑤】指導展開案（5/17時間）

目標 「中」の段落を読み取り、工夫と食品の事例についてノートにまとめることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 かたい大豆をおいしく食べるためにはど んなくふうがあるのだろう。	前時の工夫と食品を読み取る学習を生かして、⑥⑦段落についても工夫と食品について読み取る学習活動を行います。
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p24の6行目～p25の6行目) 全員読み 3 中の後半⑥⑦段落の手をくわえて、おいしく食べる工夫について読み取る。 ○前の時間と同じように、⑥⑦段落について、手をくわえて、おいしく食べる工夫と食品をノートに書きましょう。 4 発表し合う。 ○どんな工夫と食品が書いてありましたか。 ・⑥段落は、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫です。食品は、なつとうと、みそやしょうゆです。 ・⑦段落は、とり入れる時期や育て方のくふうです。食品は、とり入れる時期を工夫したのがえだ豆で、育て方を工夫したのがもやしです。 5 「中」の段落を読み取り、分かりやすい書き方の工夫について考える。 ○⑥⑦段落で使われていたつなぎ言葉は何ですか。 ・「さらに」と「これらのほかに」です。 ○③～⑦段落の書き方で似ている書き方は何ですか。 ・はじめに、つなぎ言葉を使っています。 ・はじめの文にどんな工夫かが書いてあります。 ・工夫と食品が書いてあります。 ○説明の順番はどうでしたか。 ・だんだん小さくなっていました。 ・だんだん時間がかかる作り方になっていました。 ・だんだん手をくわえるのが大変になっていました。 ・最後は、③～⑥と少しちがう工夫が書いてありました。 ○どうして筆者はこのような順番で書いたのでしょうか。 ・読む人が分かりやすいようにするためだと思います。 ○自分が説明文を書く時はどんな書き方をしたいですか。 ・分かりやすい順番で書きたいです。 ・つなぎ言葉を使って書きたいです。 6 ③④⑤⑥⑦の段落の音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習場面の確認と大豆をおいしく食べるためにどんな工夫が書かれてあるかを考えさせながら音読を行う。 ・前の時間のノートの書き方を想起させ、続きとして取り組ませる。 *「中」の段落を読み取り、おいしく食べる工夫と食品の事例についてノートにまとめることができる。 ○「くふう」という言葉に着目させて読み取らせるようにする。 ・「さらに」から受ける感じについて確認する。(違う食品にする続き、前とはバージョンアップしている、時間も力もかかるなど) ・なつとうと、みそやしょうゆについて、筆者はどうして先になつとうを書いたか考えさせてみる。 ・むすという料理の仕方について確認する。 ・目に見えない小さな生物のことを微生物ということ、この加工を発酵ということを伝える。 ・「これらのほかに」のこれらが何をさしているのかを確認する。 ・「これらのほかに」から受ける感じについて確認する。(これまでとは違う工夫が書かれてあるなど) ・⑥⑦段落の順番についても考えさせる。 ・相手を意識した書き方にも着目しながら音読するように声をかける。
終末 (5)	7 自己評価をする。 8 次時の学習内容を確かめる。	おいしく食べる工夫としての事例がどんな関連性があるかを書いてあるかを考え、説明する文章を書く時に生かしていきます。

【補助資料3-⑥】指導展開案（6/17時間）

目標 「終わり」の段落を読み取り、筆者がどんなことを伝えようとして説明文を書いたのかを読み取ることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ひっ者は何をつたえようとしているのだろう。</div>	
展開 (35)	2 学習場面を音読する。(p25の7行目～p25) 全員読み 3 終わりの段落を読み取る。 (1) ⑧段落について ○「いろいろなすがた」はどこからどこの段落に書いてありましたか。 ・③段落から⑦段落です。 ○ほかの作物に比べて、こんなに多くの食べ方が考えられたのはなぜですか。 ・大豆が味もよく、畑の肉といわれるくらいたくさんおいをふくんでいるからです。 ・やせた土地にも強く、育てやすいことから、多くの地域で植えられたためです。 (2) ⑧段落と⑨段落の役割や関係について考える。 ○⑧段落と⑨段落はこの説明文でどんな役割があるでしょう。 ・⑧段落は説明のまとめだと思います。「このように」と書いてあるからです。 ・⑨段落は筆者の感想だと思います。 (3) 筆者の感想から、筆者は読んだ人にどんなことを伝えたくてこの「すがたをかえる大豆」を書いたのか考えて、ノートにまとめて発表する。 ○⑨段落から、筆者はどんなことを伝えたくて、「すがたをかえる大豆」を書いたのか考え、ノートにまとめましょう。 ・大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえのすばらしさを伝えようとしたのだと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習場面の確認と筆者がどんなことを伝えようとして説明文を書いたのかを考えさせながら音読を行う。 ・「このように」が指している内容を確認する。 ・「からです。」や「ためでもあります。」といった表現に気付かせる。 ・「そのうえ」から受ける感じについて確認する。 ・昔の食べ物の様子を想像させる。 ・大豆は弥生時代に中国から日本へ。奈良時代には醤油、味噌を、鎌倉時代に全国に広がり、武士などの栄養源になっていた。畑の肉と言ったのはドイツ人（1882年） ・岩手も山が多く、やせた土地であった。 ・大豆の言葉の由来は大いなる豆であることを伝える。 ・「終わり」の段落の中に、説明してきたことのまとめと、筆者の考えが分けて書いてあることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>これまでの読み取りの学習を生かして、筆者がどんなことを伝えたくて「すがたをかえる大豆」を書いたのか考えさせる学習活動です。伝えたい目的があって書くことを第三次の言語活動に生かすようにします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> *筆者がどんな目的ですがたをかえる大豆を書いたのかを考えることができる。 ○筆者の感想が書いてある最後の段落をもとにして考えさせるようにする。 ・次時からの「食べ物はかせになろう」の取り組みで、調べた事例をただ書くのではなく、伝えたいと思う目的をもって書くようにさせる。
終末 (5)	4 自己評価をする。 5 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料3-⑦】指導展開案（7・8/17時間）

目標 食べ物はかせになろうの学習の流れを理解し、調べるテーマを決めることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">調べるテーマを決めよう。</div>	
展開 (80)	2 学習の流れを確認する。 3 調べることを決める。 ○身近な食べ物の中から、調べたいことをノートに書き出してみよう。どうして調べて伝えたいのか理由も書きましよう。 ・トマトをきれいな人でもトマトを食べることができるように、トマトはどんな食品になるか調べてみよう。 ・お米もすがたをかえる大豆と同じようにいろいろな食品にすがたを変えているのか調べてみよう。お米を食べない人がふえていると聞いたから、お米のよさを伝えるために、お米はどんな食品にすがたをかえているか調べよう。 4 考えたテーマに関する本を探して読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">伝えたいことの中心を明確にさせるために、何のために書くのかという目的意識をもたせるようにします。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「すがたをかえる大豆」や事例作文を参考にして書いていくという見通しをもって、調べることを決めるようにさせる。 ・「すがたをかえる大豆」はかたい大豆をおいしく食べるための工夫について説明していたことを確認する。 ・食べ物について書かれた本を提示し、意欲を高める。 ・調べたいことをこれまでの並行読書してきたことから考えさせるようにする。 ・教材文や事例作文で事例がいくつか挙げられているように、一つの事例で説明が終わることのないようなテーマにさせる。 ・調べることは食べ物のもので、工場のひみつではないことを確認する。 ・どうして、そのことを伝えたいかという目的もノートに書かせるようにする。 ・一つだけでなく、いくつかテーマを考えさせるようにする。 <p>*書こうとすることの中心を明確にして、調べるテーマを決めることができる。</p> <p>○調べたいことが決まらない児童には、テーマ例を提示し、そこから選択させるようにする。</p>
終末 (5)	5 自己評価をする。 6 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料3-⑧】指導展開案（9・10/17時間）

目標 目的に合った図書資料を探して読み，調べたい事柄を選び出し，分かったことをカードに書くことができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>わかったことをカードに書こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことを書くカードを用意する。
展開 (80)	<p>2 情報カードに書く内容について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <p>◇調べたいことについて，関係することを書き出す。 ◇調べた本の名前，出版社名，出版年を書く。 ◇分からない言葉は，しるしをつけて，後で国語辞典などで調べる。 ◇一まいのカードに一つのことから書く。</p> </div> <p>3 調べてわかったことを情報カードに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; background-color: #f0f0f0;"> <p>教材文での事例の読み取りを生かして，伝えたいことについて分かったことを情報カードに書く学習活動です。 伝えたいことに応じた内容を探し出して書かせるようにします。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の本を参考にして，辞典・図鑑，単行本・シリーズ，目次，索引について確認する。 ・書きためたカードを並べて，分類したり整理したりしていくことで，説明する文が書けそうだという見通しをもたせるようにする。 ・カードに書いたことが書かれてあるページには，あとで見直すことができるように付箋紙を付けておく。 *調べたいことについて分かったことを情報カードに書くことができる。 ○調べたいことについて書かれてある本を一緒に探し，どのように書いたらいいか助言する。
終末 (5)	<p>4 自己評価をする。</p> <p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	

【補助資料3-⑨】指導展開案（11・12/17時間）

目標 情報カードの中から、伝えたいことについてどの事例を取り上げ、どのような順番で説明するか考えることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ひつようなカードを選び、どのようなじゅんばんんでせつめいするかを考えよう。</div>	
展開 (80)	2 情報カードを整理し、順番を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◇ななかま分けをする。 ◇どんな関係でどんな順番にするか考える。 ◇むずかしい言葉を書きかえたり、説明をつけたりする。</div> ○カードの例で仲間のできるのはどれですか。 ・発酵して作るヨーグルトと乳酸菌飲料です。 ・よいことのカードはほかの4枚とちがう感じがします。 ○どんな順番で説明しますか。 ・分かりやすいのからがいいと思うので、はじめはアイスがいいと思います。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p><こんなことを意識して></p> <p>4/17時間, 5/17時間で教材文の事例の順番を考えた学習を生かして、情報カードの中から、どんな関係で、どのような順番で書くかを考えさせる学習活動です。</p> </div> ○これまで書いた情報カードを見直し、必要な情報カードを選び、順番を考えましょう。	・カードの例 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 10px;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">牛乳から作られる食品 ○調べたこと アイスクリーム ○分かったこと ・牛乳とさとうを組み合わせてひやす</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">牛乳から作られる食品 ○調べたこと ヨーグルト ○分かったこと ・生乳やだつし乳ににゆうさんきんをくわえて発こうさせる。</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">牛乳から作られる食品 ○調べたこと よいこと ○分かったこと ・人間の体にひつようなえいようそがバランスよくふくまれている。</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">牛乳から作られる食品 ○調べたこと 練乳 ○分かったこと ・半分かまでにつめて作る。</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">牛乳から作られる食品 ○調べたこと にゆうさんきん飲料 ○分かったこと ・牛乳を発こうさせたのにあまみをくわえたもの</div></div> ・情報カードのモデルを提示し、並べ変えさせる。児童として考える。 ・どうして、そのよいかを聞きとるようになる。 ・分かったことで似ていることは一つの仲間としたり、近くにさせたりする。 ・分からない意味の言葉は国語辞典で調べさせる。 *段落の構成を意識して、情報カードの順番を考えることができる。 ○カードを一緒に見て、どんな順番で説明したいか聞きとりながら、並べさせるようにする。 ・グループ同士で並べたカードを見ながら、発表を聞くようにさせる。 ・どんな接続語でつなぐかも考えさせる。
終末 (5)	3 自己評価をする。 4 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料3-⑩】指導展開案（13/17時間）

目標 カードに書いたメモを説明文にすることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> カードに書いたメモで、せつめい文にしよう。 </div>	
展開 (35)	2 調べて分かったことを書いたカードについて、説明する文章に書き直す。 (1) カードの例を説明する文章にする。 ○カードの例を説明する文章にしてみましよう。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 300px; height: 150px; margin: 10px auto; background-color: #f8d7da; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(2) 自分のカードを見て、伝えたいことの中心を明らかにしながら説明する文章を書く。 ○カードの例を見て、教材文で学習したことを生かして、一つのカードにつき一つの段落に説明する文章を書きましょう。</p> </div> </div> (3) 書いた文章について、伝えたいことがはっきりしているか、つなぎ言葉は入っているかなどを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;">課題</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;">カードに書いたメモで、せつめい文にしよう。</div> </div> <div style="margin: 5px 0;">説明する文</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> まず、ひやしておいしくする工夫です。牛乳とさとうを組み合わせて冷やすとアイスができます。 </div> <div style="margin: 5px 0;">カード例</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやしておいしくするくふう ・牛乳とさとうを組み合わせてひやす ・アイス </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの例を用意し、一つのカードにつき、一つの段落に、説明する文章を書く学習の流れを理解させる。 ・はじめの一文で伝えたいことが分かるように書かせるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「すがたをかえる大豆」で読み取ってきた事例の挙げ方を生かして、伝えたいことが伝わるように、説明する文章を書かせていきます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現の敬体と常体が混在していないか確認させる。 ・つなぎ言葉を適切に使うことができたか確認させる。 <p>*カードに書いたメモを説明する文章にすることができる。</p> <p>○児童が滞っている原因が何かを観察し、個別に聞きながら支援する。</p>
終末 (5)	3 自己評価をする。 4 次時の学習内容を確認する。	

【補助資料 3-⑪】指導展開案 (14/17時間)

目標 「はじめ」と「終わり」に何を書くか考えて書くことができる。

	学習活動 (○主な発問 ・ 予想される児童の反応)	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)				
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 「はじめ」と「終わり」を書こう。					
展開 (35)	2 「すがたをかえる大豆」を参考にして、「はじめ」と「終わり」を書く。 (1) 「はじめ」や「終わり」にどんなことを書くか確認する。 ○「はじめ」にはどんなことを説明しようとしているのかが分かるように、「おわり」には、食べ物のよさをつたえるようなまとめを書きましょう。 (2) 「はじめ」「終わり」を書く。 ○「はじめ」「終わり」を書きましょう。 (3) 書いた文章を読み直す。	<p>・板書例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> このように、いろいろなすがたに牛乳はかわっています。牛乳は、人間の体にひつようなえいよくふくまれています。 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 終わり </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 牛乳は、そのままでもおいしいのですが、手をくわえておいしく食べる工夫もしています。 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> はじめ わたしは、牛乳が大好きです。 </td> </tr> </table> </div> <p>・まとめの後に思いが伝わるような文も書くように考えさせてみる。 ・「このように」というつなぎ言葉を使わせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><こんなことを意識して> 「すがたをかえる大豆」や事例作文を生かして、自分が収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書かせる学習活動です。</p> </div> <p>・文末表現の敬体と常体が混在していないか確認させる。 * 「はじめ」「終わり」に何を書くか考え、書くことができる。 ○児童が滞っている原因が何かを観察し、個別に聞きながら支援する。</p>	このように、いろいろなすがたに牛乳はかわっています。牛乳は、人間の体にひつようなえいよくふくまれています。	終わり	牛乳は、そのままでもおいしいのですが、手をくわえておいしく食べる工夫もしています。	はじめ わたしは、牛乳が大好きです。
このように、いろいろなすがたに牛乳はかわっています。牛乳は、人間の体にひつようなえいよくふくまれています。	終わり	牛乳は、そのままでもおいしいのですが、手をくわえておいしく食べる工夫もしています。	はじめ わたしは、牛乳が大好きです。			
終末 (5)	3 自己評価をする。 4 次時の学習内容を確認する。					

【補助資料3-⑫】指導展開案（15・16/17時間）

目標 下書きをもとに清書することができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点(・) 支援(○) 評価(*)
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">下書きをもとに清書をしよう。</div>	
展開 (80)	2 清書する。 ○下書きをもとにして、清書しましょう。 必要に応じて、絵や図を書き入れましょう。 ・わたしは、食品の絵を段落ごとにかこうかな。 ・読みやすいように、字を丁寧に書きたいな。 ・書き間違えないように、確かめながら書こう。 3 推敲する。 ○書いたものを読み、間違いがないか確認しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> ◇主語と述語の関係ははっきりしているか。 ◇書き間違えている字はないか。 ◇て、に、を、はが正しく使われているか。 ◇敬体と常体が混ざっていないか。 ◇文末は表現したい書き方になっているか。 ◇相手が読みやすいか。 </div> <p style="text-align: center;">○清書した文と、修正する前の下書きの文章を比べてみましょう。どう思いますか。 ・つなぎ言葉を使ってわかりやすく書けたと思います。 ・説明したいことについて、例えを入れて書くことができよかったです。 など</p>	・誤字脱字や写し間違いがないか、確認させながら清書に取り組みさせるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><こんなことを意識して> 前時の学習で書いた下書きを生かして、清書する学習活動です。</p> </div> <p>*下書きをもとに清書することができる。 ○児童が滞っている原因が何かを観察し、個別に聞きながら支援する。</p>
終末 (5)	5 自己評価をする。 6 次時の学習内容を確認する。	・楽しく学習できたか、清書することができたか。

【補助資料3-⑬】指導展開案（17/17時間）

目標 清書した文章を読み合い、感想を伝えることができる。

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	指導上の留意点（・） 支援（○） 評価（*）
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">清書した文章を紹介し合おう。</div>	
展開 (35)	2 清書した文章を紹介し合う。 ○自分が書いた文章を読み直しましょう。 ○清書した文章をお互いに読み合ひましょう。 そして、次のことを書いた人に伝えましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">◇書き方について。 ◇読んで思ったことについて。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #f8d7da;"> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは、わかりやすい順に説明していたので分かりやすかったです。○○は○○だということがよく分かりました。 ・○○くんは、きちんと「初め」「中」「終わり」のまとまりに書いていました。○○は○○ということを初めて知りました。 </div>	・字の間違ひがないか、読み直しをして確認させるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><こんなことを意識して></p> <p>教材文の読み取りで書き方について考えてきたことを生かして、感想の視点を持ち、交流します。</p> </div> *友だちの書いた文章を読み、よさを見つけたり、感想を発表したりすることができる。 ○感想発表の視点をもとに、友だちの文章がどうだった個別に聞き取る。
終末 (5)	3 学習を振り返る。 ○この学習でどんなことができるようになりましたか。 ・テーマを決めて、調べて説明文を書くことができました。 ・つなぎき言葉を使って文を書くことができました。 ・「初め」「中」「終わり」の段落を意識して書くことができました。 ○学習したことは、どんな学習で役に立ちそうですか。 ・総合の学習で調べる時です。 ・図工の学習で作った作品の説明をする時です。	・楽しく学習できたか、清書することができたか。 ・他教科や日常の生活でも生かそうとする気持ちをもたせるようにする。